

あまでうすです

妖と訊くと何を思い泛べる
だろつか。江戸の頃は今と違
い「逢魔が時」と云う言葉が
ある様に、夜の重さが尋常で
はなく深い闇に包まれていた
のだからと想像する。そんな
時代に、妖は市井の人人には
身近な存在であったと思われ
る。今までに妖を題材に創作
を『風地蔵新聞』に、三年前
と去年と二度書いた。最初は、
各務野自然遺産の森に建つ
「江戸時代の庄屋」。二度目
は、「うだつの上がる町、美濃
「旧今井家住宅」を舞台に妖
である小鬼の鳴家（やなり）

と付喪神（つくもがみ）を出
現させて話を書いた。いずれ
も『図画百鬼夜行』に描かれ
ている妖怪ではあるが、しこ
たま怖いと感じる妖ではない。
前から何となく感じてはいる
が、家にも少なからず鳴家達
が住み着いている気配がある。
時時、家が軋む。こんな鳴家
達ならウオーキング後に足を
揉んでくれたらと想像するだ
けで大歓迎である。河童に足
を引きずり込まれたとか、鬼
火を見たとか、そんな妖たち
は人の噂や読み本、芝居など、
生活の中に日常茶飯事息づい
ていたのかも知れない。江戸

には時代小説でよく登場する
「本所七不思議」と云われる
物があつた。置いてけ堀、送
り提灯、消えぬの行燈、馬鹿
囃子、足洗い屋敷、落葉なし
の椎、片葉の蘆。この様な怪
異が起きても人人は不思議な
事と認識し乍らも無視をしな
かつたと云われる。それ程に
慣れ親しい物だったのかも知
れない。落語の世界にも妖が
出てくる話が数多ある。「大
豆洗い」「質屋蔵」「ぞろぞ
ろ」裡でも好きな「質屋蔵」...

るか知れないと、番頭に事細
かに話をする。番頭は蔵の怪
異を突き止める様に命じられ
るが、何せ怖がり。そこで大
工の熊さんに助け人を頼む事
にした。日も暮れ蔵の片隅で
二人が震え乍ら様子をつかがつ
ていると、突然雷鳴が響いた
かと思うと、蔵の中に怪異が
現われる。頼まれた手前逃げ
出す訳にも行かず、怯える二
人は薄暗い蔵の中に足を踏み
入れると、中で質受けされた
帯と羽織が相撲を取っていた。
あつけに取られていたと、目
の前で掛け軸が泛きあがった。
それは菅原道真が描かれた掛

け軸。その道真の絵が番頭を
見とめると「持ち主に利上
げせよと伝えよ、どうやらま
た流されそうじゃ」とオチが
付いて終わる。道真は、後に
大宰府へ左遷させられ、そこ
で無念のまま歿するが、そ
の恨みが残り怨霊となつて朝
廷を悩ます事となる。オチは
その故事と質流れをかけてい
る。此処に登場する帯、羽織、
掛け軸などは、器物が百年立
つと妖怪になるといわれる
「付喪神」である。またいつ
か妖を登場させ今度は「風地
蔵」を舞台に第三弾を書いて
みようと思っている。

九州の空から

朱に染まる
門をくぐりて
みあげれば
小さき花に
心とらわれ
時代超えて
いまなお慕う
飛梅に



きょうから 太宰府は
また昼間の気温が
ふたけたに戻ります。
真つ青な空に向かつて
梅が ほころびます。
まだまだこれから見ご
ろを迎える
太宰府天満宮の梅です。

りおんはことしも
大垣北中学の時の担任
の先生が赴任先で3年
生の担任ということをし
知り、太宰府天満宮で
絵馬を買ひ、先生に
送って生徒さんに 名
前とお願ひを書いても
らって奉納しました。
願ひがかないますよう
に。

風地蔵新聞

リフォーム

鎌澤 真子

今、私は長屋に住んで
います。越してきて25
年になります。去年の暮
れに大家さんより、水廻
りのリフォームに年明け
から入りますのでよろし
くお願いします。と言わ
れました。

さあ、それからが大変
です。どういう風にされ
るのか？どこの荷物をの
ければいいか、その荷物
をどこに一時保管するか
を、家族三人頭を悩ませ
ます。一番の問題は「ロ
ン」の事です。ロンも我
が家の一員です。わんこ
なんですけどね。家族以
外には、よく吠えるので

工事の方達がやりづらく
ならないように、又、ロ
ンにストレスがかからな
いようにと気を使いまし
た。結局、お風呂場に移
動させることにしました。
お風呂が昔は共同風呂で
広かったのです。

家具も、一部は旦那の
実家に預けました。少し
づつ片付けながら、なん
と物の多い事。まったく
と言っていいほど、使っ
てない物も数多くありま
す。とりあえず移動をさ
せて、元に戻す時に処分
する物とわけようという
事にしました。

一月の末、いよいよ工
事です。ガスと水道の事
が気になりましたので、
事前に責任者の方とお話
をさせて頂き、洗濯や食

第125号

発行 編集
風地蔵
白石 美帆
〒503-0922
岐阜県大垣市
馬場町85

ヤフーブログ
毎日更新中
炎の女みほ日記

http://bl
ogs.yahoo.
co.jp/rio
n5230

事の用意が出来るように、
ガスも簡易のものを用意
するとの事でした。が、
仕事を終えて家に帰ると、
ガスも水道も使えない！
食事の用意も何もできな
い。で、「えっ！！」と
ただ呆然。とりあえずそ
の日は急ぎよ、半額めし
（我が家では七時頃から
のお惣菜の安売りをこう
呼んでいます）を買いに
行きました。次の日

もでない！これはさすが
に困る！と次の日は、私
が休みでしたので、大家
さんに相談しに行きまし
た。すぐに責任者に連絡
をとって頂きました。

いろいろ考えてもらっ
て、水道は、大家さんの
小屋の中に、ガスは簡易
ポンペを用意して頂きま

したが、とても
不便でした。
二週間後よう
やく、家の中
何もかもが出来
るようになり、ホッとし
ました。この二週間の体
験で、ほんのちよつとで
したが、地震の被害にあ
われた方の気持ちがよく
わかりました。

水がすぐに汲めない、ガ
スが使えないのがこんな
にストレスになるとは思
いもせませんでした。テ
レビの映像や話を聞いて
も、自分のこととしては
とらえていませんでした。
大変だろうとは思って
も、他人事です。二週間
でしたが、洗濯もついコ
インランドリーにもって
行ったりするので、なる
べく出さないようにしよ
うと考えたりもしました。
おかげで体重が四キロ落

ちてしまいました。被災
者の方達は、何年もそう
いう思いをされていらつ
しゃるんだと思うと、心
が痛くなりました。
こんな状態が長く続けば、
病気になるのも当然だと
思います。電気は使える
ので、明るいですし、テ
レビも見れます。暖房も
使えます。そこまで寒
い思いをしなくてすま
しました。

こんなに水がすぐ使え
て、食事の用意が出来る
という事、美味しい物が
食べれることのありがた
さを痛感させられました。
大切に使わなければと思
いました。東南海地震が
おきると言われています
が、今のうちから準備を
しておかないといけない
など、少しずつ、ストツ
クしていきたいと思いま
す。 終り

第125号 No. 1 風地蔵新聞 2014年3月3日

ちよつと立ち話

新聞がなくなったんや。あ、そう、配らないだけでここに来れば読めるのね。良かった！なくならなくて。(エステのEさん)

いつもこれ読むの楽しみなんですよ。(エステのTさん)

奥田さんの読んで、思わず計算して、私は74才だから24時間以上いってしまわ。おもしろいね。(杉原幸子さん)

新聞読んだよ。成人式だったんですね。おめでとうございませ。(エステのTさん)

原先生すごいですね。自転車でも行かれちゃうんですね。

びっくりしました。(エステのIさん)

今年初詣行ってないですね。息子の成人式の事を思い出して、そういえば写真を撮ってないですね。というか撮らせてもらえなかつたです。

湯たんぽの話とお客様にもアドバイスしました。

奥田さんの読んで、計算。18ということは私もまだまだ時間あると思つてががんばりませ。あまですさんの思い出しますね。(鎌澤)

私もスズキのヒレにはびっくりしました。あんなに硬くまるで狂気のようにでした。だけど本当に美味しかったです。

心も体もポカポカになりますね。

薬は悪循環ですよ。湯たんぽ懐かしいです。よく子供の頃おばあちゃん寝る前に用意してお布団の中に入れていました。本当、ぽかぽかです。(大橋)

成人式は出てないですね。だからどういうものか想像するだけ。息子さんとお友達の姿はかま姿の写真を笑点思い出します。

魚は文句を言われなようにもつてきました。近所の方からお礼の言葉を突然貰うと「何だつたかな」と一瞬考えました。

は1度も見たことがないです。有名な最後のワンシーンはTVで見ました。(原)

大橋さんの満員電車でのバランスサーフィンの豆まきのアイテツと顔に当たつてる様子を思い、笑いました。

原先生さいごー！！あたしも行きたかつた。いや、行かずして、この文章でバツチリ理解できました。それどころか、あたしのなかで「大垣市」への集客いこーる「風地蔵」で考えてることなんて、千人が「風地蔵に」のくだりにハイタッチしたい気分です！



のう見てきた、小さな町のひなまつり展が、「今まで見たことより感動したこと！大規模じゃなくても、質を良く感動を呼べば人が来る！！」ごんな時のグツタイミングです。共に未来を考えよう！熱い思いがたぎります！！店長の話はスラスラ読んでいき、最後は、襟を正さなきゃと自分い喝を入れました。(みほ)

「福は内」



大橋 美紀

2月3日 仕事が

お休みだったので、息子が出勤する時に最寄り駅まで送ってもらった。なぜ？それは節分でもあり、恵方参りに出掛けることに一週間前から決めていたからです。今年の方角は東北東で、名古屋守山区にある龍泉寺が良いと、そして、本尊が今年干支の馬頭観音これは行くしかないと思つたのです。前

日にネットで電車での行き方を調べました。

最寄駅は近鉄養老線の友江駅です。息子に合わせてですので、

駅で三〇分待ちやつと電車が来ましたが、

平日のラッシュ時間の学生さんと会社へと向かう人で満席状態。座ることさえできませんし、吊り革を持つこともできず、

バランスをとるのに必死でした。大垣駅でJRに乗り換えです。豊橋行きに乗り、

名古屋で中央線に乗り換え、木曽根駅で降りると北口に出て、

ゆとりとラインというバスで龍泉寺へと一人旅。朝早かつた

ので、まだ人も少なくて、本堂から厄年の方が御祈祷後、

「福は内福は内」と参拝に来てる私達に向かつて豆をまいて

頂けるんです。皆さんその豆を拾おうと必死です。私も少し

でもと思い、2粒拾えました。顔に当たつた数の方が多かつた

かもしれません。2粒をハンカチに包み

自宅へと帰りました

が、送ってもらつたいたので、駅から20分歩きました。犬

の散歩で30〜40分は歩きますが、犬

の散歩とは違って、休まず歩き続けたので

疲れしました。寒い日だったのでジワーツ

と汗をかきました。夕方方は節分の行事である豆まきです。誰も家族はしません。

私一人、豆まきをし、その年の数プラス1粒を食べ、あとは恵

方まき。今年からやるようになったので

ですが、これは原先生の影響かもしれません。こつこつた行事

をすごく大切にしている方です。話を聞

いてるうちに、私も日本の風習に触れた

位と思ひました。昨年、恵方巻きを食

べている時に、具が下からこぼれてしまつ

て、「あつ落ちた」と声を出してしまつ

たのです。原先生は片手は恵方巻きの下

に、もう片方でした。そうです。それを今年には実行。東北東の方を向いて、目を閉じ、食べ終わるまで

声を出さず大成功。アドバイスが生きました。たつた一人

でも豆の売り場が広くなり、恵方巻きもバラエティーにとんだ

りと節分を新しい年が始まる前日として

豆まきで邪気除け、恵方巻きで、願いを

込めて立春を迎える方が多くなつたんで

しょう。皆さまにとつて笑顔でいられる一

年でありますように。

おもてなしセミナー

原 由里子

最近私の趣味が出来ました。月に一度、家に送られてくる大垣新聞「広報」のイベント欄を見て、休みと重なるイベントに申し込みして参加する事です。

その最初の一步が、2月17日ソフトピアジャパン10階大会議室で行われた「おもてなしセミナー」の参加です。前にも違う会場で仕事で参加しましたが、個人参加は初めてです。申し込み後、大垣商工会議所から案内状が届きました。

母が、商工会議所から届いたので、つきり父のだと思つて開けていました。別にいいんですけどね。当日、余裕を持っていったつもりが3時30分ぎりぎり会場入りでした。会場は、開いてる席を探さないと行けないほど、大勢の参加者でした。一番最後に入ったにもかかわらず、前から2列目の真ん中の席に座りました。

ぱつと見ただけですが、授業の一環として、大垣の商業高校の生徒さんの参加や、老若男女問わずに色々な方がみえました。講師は、株式会社阪急交通社の吉田修司氏です。阪急交通社の、旅行会社の目から見て、もつと大垣に人を集めるには、観光が盛んになるにはどうしたらいいかの提案みたいな感じでした。まずは会社の紹介。

阪急交通社は、旅行の時にお客様にアンケートを書いて頂いてお礼やクレーンなどお客様の声を聞くそうです。そこから、お客様目線で旅行(商品)を作っていくそうです。旅行の決定者は、74%女性だそうです。

一番多い年齢が、50〜60代が多いので、その年代の女性が興味を持つような旅行を考える事が多いみたいです。旅行のキーワードとして、温泉・桜や紅葉・土地限定の花、食事、イベント(お祭り、特別拝観)年に一度、限定)世界遺産、ローカル列車の旅に興味湧くそうです。そして、「心に届く旅」を目指しているそうです。その後本題の大垣に人を集めるにはと、話が変わりました。

大垣のキーワードは、奥の細道・大垣城・水まんじゅう・柘・湧き水と頂いた資料の表紙に書いてあり、大垣市は魅力に溢れています!と書いてありました。

資料をめくると、最初に奥の細道が書いてあり、水堀の活用で四季を楽しみ掘めぐりと書いてありました。たらい舟も期間限定より、定期運航がいいのではないかと、舟下りやたらい舟に乗って水まんじゅうを食べるとかなど案を出していました。たしかに、水まんじゅうを食べるのはよいけど、定期運航はどうなのかと、自分の中で賛否両論が行われていました。

次のページは、大垣城です。関が原の戦いでの要だったため、その当時の食事を再現するとか、鉄砲隊イベントとして、非日常を体験して頂いて、全国から集客をと言っていました。次は、長崎のハウステンボス・東京駅・大阪城・なばなの里で行っている3Dマッピングとイルミネーション。ソフトピアジャパンの建物を利用してやっているのは?という意見は素直に「良いな」と思いました。ただDマッピングはお高

い。大阪城で10分間で2千円かかるそうです。あと、食事にわき水・地元の人間でもわかりません。ただ水まんじゅう1年じゅう食べられたら良いのにと言っていました。期間限定の良さもあるよと、これには反論していました。夏場は伊吹山に全国から30万人が訪れるそうです。その中の千人が大垣市に来てくれたらと湧水を使用して、観光に出来ないかと。千人が大垣市に来たら、ネットを見て風地蔵にも流れてくるなと思いい聞いていました。そして地域産業。要は大人の社会見学。良いと思いました。

あと、木柘作り体験や豆腐製造工程の見学。養老鉄道(ローカル列車)に乗る旅などどうかという案でした。誘客・地域活性化には、総合協力や官民一体でない、本来の観光活性は出来ない」と資料に書いてあり、「なるほどな」と見ていました。

阪急交通社と自治体・商工会との協力事例の成功例に、新潟・佐渡大感謝祭を開催して、佐渡民謡・佐渡おけさ・鬼太鼓の芸能に触れて、地酒試飲・海鮮焼きや五箇山合掌集落ライトアップ、広島・宮島かき祭りなど。北海道では、ジャガイモを植えて出来たら収穫しに行く旅行もあるとか。おもしろい。あとは、情報発信を自社メディア・マスコミ・口コミで広げていくことが必要ですと言っていました。まずは世間に知られないとどんなに良いものでもという事です。情報発信 認識

集客 おもてなし 感動の順番のサイクルが必要という事です。

講師の方が、おもてなしに準えて、「お」大垣の「も」持てる魅力をして「提案し」「な」何度も呼ぼう、「し」四季を通して。と締めて拍手です。

最後に質問となり、おたくの旅行に参加してよかつたとか、添乗員が人によつて違ふとか、大垣市は予算があまりないのでどうしたらいいのかと、女性の方の質問が多く飛び交っていました。

1時間の講演も終わり、参加してよかったなと思いました。そういえば講師の方が何回か言っていた「心を配る」大切なことだと思えます。それで思い出したこと。美容院に行ってきたんです。髪を洗うのに、ピアスを外し、靴に入れなかつた私も悪いですが、ピアスをロッカーに置いたまま忘れてしまったんです。それに気付き、翌日、ピアスを忘れたと伝えたら、あるということでした。スタッフがわかるようにしておきますとの事で、このセミナーの前にとりに行きました。「あーピアスですね。」と笑顔で応えてと、そこまではよかつたんです。

確かに安物ですが、テープで色が剥がれるとか考えなかつたんでしょうか? まったく「心を配る」が出来ていない美容院だと考えさせられました。

三月号 諺に学べ 政治のこととかを風地蔵新聞に書いたりしたことは、過去ほとんどないと思うが、禁断を破って書いてみたい。東京都知事選をみていて日本人は、本当にお気楽な国民だと思った。諺に例えるなら「喉元過ぎれば熱さを忘れる」全く学習しない国民。スグに忘れてしまう。「災害は忘れた頃にやってくる」のにね。

庭師 奥田良樹